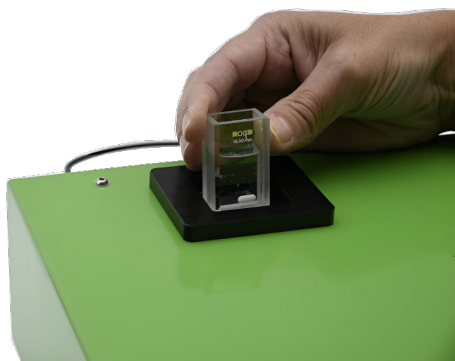
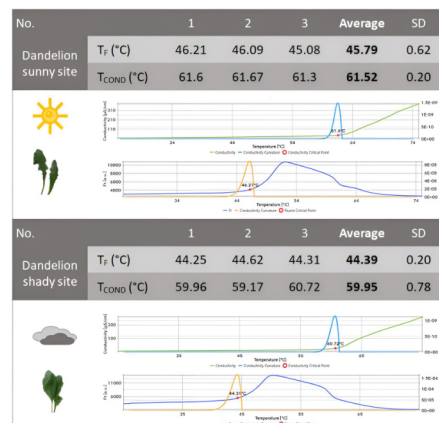




### 植物、植物懸濁細胞、藻類、シアノバクテリアの耐熱性を迅速かつ簡単に推定

PlanTherm PT200 は、25~75°Cで徐々に加熱しながら、導電率とクロロフィル a 蛍光を同時測定し、熱ストレスによる細胞膜崩壊を1時間未満で分析します。

- 小～中型葉片、藻類、シアノバクテリア用チャンバー
- 最大 3°C/分で正確に加熱制御(20~75°C, ±0.3°C)
- 導電率(1~1,000  $\mu\text{S}/\text{cm}$ ) & クロロフィル a 蛍光測定
- 測定・攪拌・温調を統合したコンパクト設計
- 直感的GUIとRスクリプトで柔軟な分析





## 技術仕様

パラメーター	
温度調節システム	200 W ペルチェ素子
調節	20 - 75°C (周囲温度より最低 1°C 低い)
制御精度	0.1°C
調節精度	±0.3°C (<60°C)、±0.5°C (60°C - 75°C)
標準加熱速度	1 - 3°C
加熱時間 (25°C~75°C)	17 分 (3°C/分)、25 分 (2°C/分)、50 (1°C/分)
温度調節ユニット	
容量	6 ml キュベット用 1 チャンバー
サイズ (h × l × d)	117 mm × 252 mm × 260 mm、3.25 kg
通信ポート	USB-C
温度センサー	PT 1000
導電率センサー	Gryf HB、VEL 356
蛍光センサー	Fluorpen FP100(青色光(470nm)または赤橙色光(630nm))
PC 要件	
オペレーティング システム	Windows 10 または 11
通信ポート	USB-C
推奨構成	メモリ RAM 12GB、ストレージ 256GB SSD+1TB HDD、プロセッサ > i3
ソフトウェア	
ProfileCon v3 GUI	PlanTherm PT 200 の制御とデータ処理: <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザー定義の調整コースの自動制御のためのサンプルの加熱</li> <li>・サンプルの温調 (1 秒 ~ 60 分)</li> <li>・データの記録</li> <li>・データの分析と保存</li> </ul>
技術データ	
電気	85 ~ 264 V/AC
最大消費電力	最大 240 W
動作温度	5 ~ 30°C (開始温度より最大 1°C 高い)
動作湿度	0 ~ 80% (結露なし)
付属品	
ガラスキュベット	6 mL、動作容量 4 ml
磁気攪拌棒	2 × 7 mm
リーフホルダー	部品 2 個、六角レンチ 1 本